

経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県 上小阿仁村

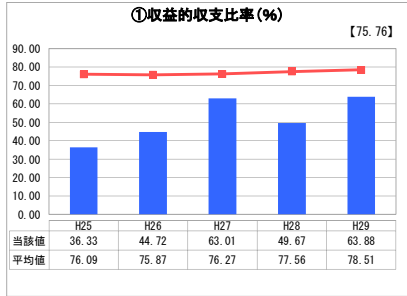
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	97.50	3,240	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,375	256.72	9.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,297	9.98	230.16

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



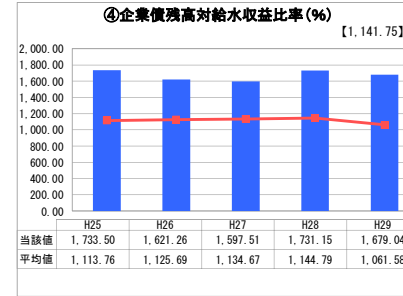
「単年度の収支」



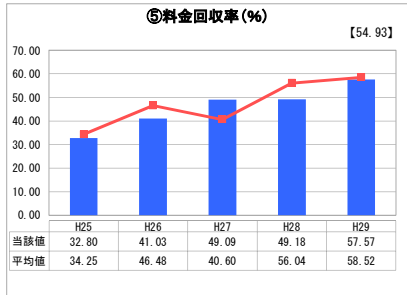
「累積欠損」



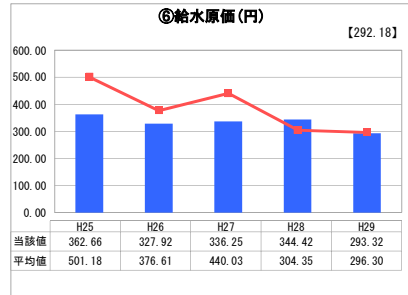
「支払能力」



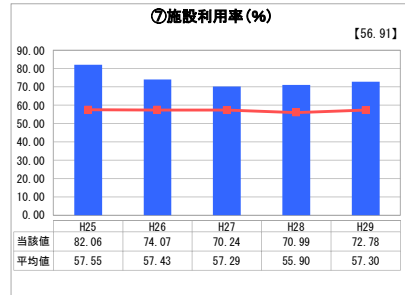
「債務残高」



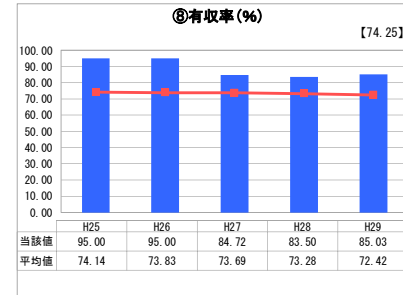
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

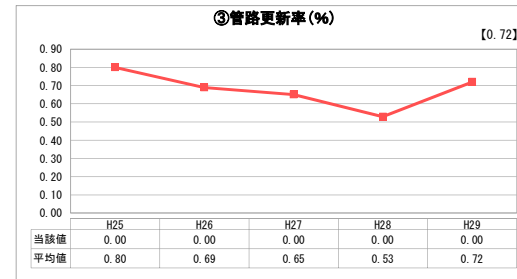
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、類似団体平均を下回っている。修繕等の維持管理費が僅かに増加したものの、地方債償還金が減少しているため、今後も数値は改善する見込みである。

企業債残高対給水収益比率については、減少傾向にある。統合事業が完了し、今後、残高が減少するため、改善する見込みである。

料金回収率については、類似団体平均を僅かに上回っている。経費削減等による、更なる経営の改善が必要である。

施設利用率及び有収率は高い水準で推移しており、経営の健全度、効率度は妥当である。

2. 老朽化の状況について

管路の経過年数が比較的浅いことから、近年の大幅な更新はない。今後は簡易水道更新施設計画による施設の整備・更新が必要である。

全体総括

現在、施設の統廃合(平成28年度完了)により、効率的な施設の運営を進めている。

今後は、平成34年度で償還のピークを向かえ、その後徐々に減少していくことから、更なる効率的な施設運営が見込まれる。また、将来的な大幅な管路及び機器の更新にそなえ、アセットマネジメントにより、計画的な施設の整備・更新が必要であることから、簡易水道更新施設計画により、計画的な整備・更新が行えるよう準備を進める。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。